

「愛知県その道の達人」派遣事業 実施報告書

達人名	松山 大樹 先生 (コントラバスの達人)
実施校	蒲郡市立形原北小学校
実施日	平成20年9月25日(木曜日)
実施学級	6年1組・2組(68人)
授業の実際	 <ol style="list-style-type: none"> 1 担任による達人の紹介。コントラバスの達人であることを紹介する。 2 達人と音楽教師のピアノによるアンサンブル演奏を聴き、本物の楽器の音色を味わう。サンサーンス「ぞう」「白鳥」、ベートーベン「メヌエット」、井上陽水「少年時代」 3 コントラバスという楽器の魅力について、達人のお話を聴く。 4 オーケストラやコントラバスについて、達人に質問する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ コントラバスの音の出し方や音が出る仕組みを教えてほしい。 ・ 他の弦楽器とコントラバスには、どんな違いがあるのか。 ・ オーケストラの中でコントラバスはどんな役割を果たしているのか。 ・ なぜ、コントラバス奏者になったか。 5 実際にコントラバスにさわり、演奏の仕方を教わる。 6 達人が音楽の道を選んだわけや今までの人生についてのお話を聴く。
児童の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽器の生の演奏を聴いたのは初めてだったのでとても感動した。もっとコントラバスのことが知りたくなった。 ・ 知らないことをたくさん知った。特に、バイオリンとコントラバスはちがうと知り、びっくりした。楽器について自分でも調べてみたいと思った。 ・ 達人のコントラバスと先生のピアノが合っていてすごくよかった。今度こんな機会があったら、もっといろいろな曲を聴いてみたい。 ・ はじめてコントラバスをさわり、実際にひかせてもらえてうれしかった。 ・ コントラバスが、あんな低い音で、きれいな音だと、はじめて知った。今度は違う楽器の音や演奏も聴いてみたいと思った。 ・ 中学生になったら、部活動を何にしようか迷っていたけど、今日の演奏を聴いて、吹奏楽もいいなと思った。
教師の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちの目の前で、本物の楽器の演奏を聴かせ、達人の話や聴いたり質問したりする活動を組み合わせることにより、子どもたちの感動や、もっと聴いてみたい、調べてみたいという追究意欲につなげることができた。音楽を担当する教師とのアンサンブル演奏をしたこともよかった。教師も、音楽の授業で本物の楽器の演奏に触れさせるための多様な方法を学ぶことができた。